

Kishiwada South Rotary Club Bulletin

2004~2005年度 国際ロータリー・テーマ

ロータリーを祝おう



CELEBRATE
ROTARY

100 Years
100年の歩み

国際ロータリー第2640地区
岸和田南R.C. 創立 1999年4月22日
2004-2005年度国際ロータリー会長
グレンE. エステス・シニア
国際ロータリー第2640地区ガバナー

中島治一郎

会 長 藤原 周祐
幹 事 佐藤 英州
会場監督 メ野 洋司
会報委員会 永野 三郎
森田路之生 谷口 俊博

事務所：〒598-0045

岸和田市別所町3丁目14-24 OMビル2F

TEL：0724-30-1157

FAX：0724-30-1158

E-mail：ksrc@sensyu.ne.jp

例会場：長栄会館

岸和田市下松町1丁目16番14号

TEL：0724-39-5551(代)

例会日：毎週木曜日 13:00~14:00

クラブテーマ：岸和田南ロータリークラブの更なる躍進のために基本に帰ろう

平成16年9月2日(木)発行

第254回例会報告

日 時 平成16年8月26日(木)午後1時~

場 所 長栄会館

点 鐘藤原周祐会長

ロータリーソング 全 員
「四つのテスト」

お客様のご紹介松林俊和出席委員長
(ビジター)

スリウォンRC会長 (タイ国バンコク3350地区)

塩谷 行雄様

会長の時間藤原周祐会長

皆様こんにちは。まだ暑い日が続いていますが、今年の暑さで夏バテに悩まされている人もおられるのではないのでしょうか。夏バテ解消方法を少し述べます。

夏は汗をかくので水分の取り方が重要で、暑いとどうしても水分や冷たいものに手が出ます。水分の取りすぎは身体がだるくなり、夏バテに拍車をかける事になります。水分を取るには、熱いお茶、ポカリスエットのような吸収の良い飲み物や、スイカ、メロンなど夏の果物、果汁100%ジュースなどが良い。しかし、がぶ飲みはよくありません。お茶や水でも5~6杯、ジュースなどは3杯が限度です。糖分の取りすぎはビタミンを奪い、さらに身体がだるくなります。疲れ解消にはお風呂がよく、ぬるめのお湯に力を抜いて入ると良い。また、シャワーも良いが心臓に遠い部分から浴びると良い。また、寝る時に足を少し高くして寝るとだるさがとれ、また不眠症の方には、人肌ぐらいの温度で温めた牛乳を飲むと良い。また、食事はいつも以上に小松菜、チンゲン菜などの緑色の野菜を食べるよう心がけて下さい。ヘモグロビンと

なり血液中の酸素を運ぶので、疲労でできた老廃物を血液が運んで出してくれます。

また、夏に注意しなくてはならないのは、食中毒です。食べ物を口に入れ臭いがおかしいと思ったら、口に入れないこと。殺菌や滅菌作用のあるワサビ、七味、食用菊、タバスコ、ラー油、ハーブなど薬味をとると食中毒を予防します。

幹事報告佐藤英州幹事

*例会変更のお知らせ

岸和田北RC 9/14火→休会

岸和田東RC 9/17金→休会

泉南RC 9/17(金)→9/18(土)17:30~ 夜間例会

於:全日空ゲートタワーホテル

阪南RC 9/22水→休会

*スリウォンRC会長 塩谷行雄様

私は岸和田市本町の出身です。私のクラブはタイ国で唯一の日本人ばかりのクラブです。タイのクラブは女性会員が多くいます。女性ばかりのクラブもあります。日本のクラブの出席率の良いのにびっくりしました。私のクラブでは50%程度です。社会奉仕活動として、貧しい地域へ日本の放置自転車を東京で整備して、月間450台を贈る事と、学校での養鶏プロジェクトに取り組んでいます。

委員会報告

親睦活動委員会

加藤 博委員長

岸和田まつり見物席を昨年同様に用意いたします。会員、家族で申し込み下さい。

出席報告松林俊和委員長

会員総数 30名 出席 23名 欠席 7名

本日の出席率 76.66%

(出席免除適用会員 0名)

前々回の修正 欠席 5名 補填出席 2名

修正後の出席率 90.00%

- ニコニコ箱の紹介** ……………西村博治前会計
塩谷 行雄様(3350地区バンコクスリウォンRC) 初めて
メイクアップさせていただきます。
- 藤原 周祐会員 スリウォンロータリークラブ会長塩
谷様、ようこそお越し下さいました。
- メ野 洋司会員 8月24日、無事裕介がバンコクに長期
派遣学生として出発しました。多数
のお見送りありがとうございました。
- 載 秀則会員 7月10日、嫁さん誕生日でした。
- 飯塚 十朗会員 欠席のおわび、アテネ五輪アーチ
ェリ銀メダルを祝って!!
- 河合 實会員 欠席のおわびです。

会計報告 ……………西村博治前会計

前回までの累計額	46件	225,000 円
8月26日 集計額	6件	26,000 円
合 計	52件	251,000 円

卓 話

「第1回アテネオリンピックこぼれ話」

飯塚十朗会員

古代オリンピックと近代オリンピック

古代ギリシャでは神に捧げる採点が各地で盛んに行われたが、中でもオリンピアでの競技大会は次第に発展していった。これがオリンピックのはじめである。

古代オリンピックは、夏至のあとの満月を中心に第1回オリンピックの祭典が開かれた。灼熱の太陽の下、ヘロポソネス地方は乾燥期を迎え、砂埃の舞う競技場の中で裸の若者が全身から汗を流し、激しく息をきらしながら四万の観衆の声援にこたえ競技をする。

ギリシャは都市国家の間で戦いが起こり、激しく対立していた。しかしオリンピック大会が近づくと、都市国家間の休戦を告げる伝令がギリシャ各地を回り、戦士や商人、農民もオリンピック精神と習慣に従い一時休戦し、目の前の勝利者に熱狂的な声援を送る。冠は全能の神であるゼウスの神殿に生い繁る神聖なオリーブの木を、健康な少年が黄金の鎌で切り取り、その少年の両親が小枝を編んで作った冠が贈られる。4年に1回行われた。

オリンピックの復興

アテネでは1859年に小規模ながら第1回オリンピック大会が開かれた。その後、1870年、1875年、1889年、とびとびに4回行われたが中止された。フランスのピエール・ド・クーベルタンが古代オリンピックの復活を考え、1894年ソルボンヌ大学(パリ)で開かれた国際スポーツ会議で、オリンピック復活を決議させ、直ちにオリンピック委員会が結成され、まず第1回大会を1896年にアテネで開催した。この年をオリンピックの起点とし、以後4年ごとに開催することを取り決めた。

近代オリンピック創始者クーベルタン

当時フランスは知識ばかり重視する教育に対して、ス

ポーツの持つ教育的な役割—知育、体育、徳育のバランスのとれた教育の実現をめざした。「古代ギリシャで行われていたオリンピックの制度を現代的に復活させて、スポーツによる教育の改革を世界に広めてはどうだろうか、これは世界の平和に貢献するに違いない」という思想は、クーベルタンの鋭い時代感覚である。

オリンピックの目的

オリンピックの理念を「オリンピズム」という。スポーツを通じて、フェアプレー(スポーツで正々堂々と戦う試合ぶり)の精神をもとに、身体と精神を鍛錬し、若い人々が文化や宗教、国や様々な違いなどを超えてお互いに理解し合い、友好を深めて、さらには世界の平和に貢献する。

オリンピックの正しい名称は

「オリンピック」とカタカナで表記したり、俗に「五輪」と漢字で書いたり、日本では通常、「オリンピック競技大会」という。正しくは、夏季を「オリンピック競技大会」「Games of the Olympiad」、冬季を「オリンピック競技大会」「Olympic Winter Games」という。

オリンピックのモットー

「より速く、より高く、より強く」がオリンピックのモットーである。オリンピック・ムーブメントに関わるものは(他より)抜きん出ている事が求められている。

点 鐘 ……………藤原周祐会長

Announcements

次週のお知らせ

平成16年9月9日(木)

「山との出会い」

貴多野泰夫会員

● 岸和田RC

平成16年9月8日(水)

「だんじりの話」

梶野和一郎会員

● 岸和田東RC

平成16年9月10日(金)

「泉州岸和田だんじり祭り」

岩出 正次会員

● 岸和田北RC

平成16年9月7日(火)

「クラブフォーラム」

情報規定委員会 矢倉 義久委員長